

「山形市教育大綱」及び「山形市教育振興基本計画」に基づき、「生涯学び、人と地域とかがわり、よりよい社会を築く人づくり」を目指します。

また、山形市立図書館基本方針に基づき、生活の充実、地域課題や生活課題への市民の主体的学習を支援するため、多様な資料・情報の充実に努め、身近な情報拠点、地域文化の創造の場としての図書館、さらに市民とともにさまざまな企画や図書館運営を図ることにより、市民のニーズを反映し、市民に身近で親しまれる図書館を目指します。

1 山形市教育振興基本計画における施策の展開

<b>施策の方向 2</b>	<b>生涯学習の推進</b>
<b>基本施策 5</b>	<b>生涯学び、人と地域とかがわり、よりよい社会を築く人づくり</b>
<b>施策 5-2</b>	<b>市民の主体的学習を支援する図書館運営</b>



この計画では、将来にわたり持続可能な社会の実現に向けて、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献することを目指します

## 2 具体的な施策と取組の目的・概要

<b>施策の方向2</b>	<b>生涯学習の推進</b>	<b>基本施策5</b>	<b>生涯学び、人と地域とのかかわり、よりよい社会を築く人づくり</b>
<b>市民の主体的学習を支援する図書館運営</b>			
<b>施策 5-2</b>	<p>図書館に求められる役割が、従来までの「借りる・読む・調べる」とどまらず、利用者や地域の「課題解決に役立つ情報拠点」へと変化してきていることから、市民の主体的学習を支援するための、多様な資料・情報の充実に努めるとともに教養を高めるための多様な講座を開催する。</p> <p>また、利用者数、貸出冊数ともに減少傾向から回復の兆しがあったが、コロナ禍の中で利用を控える登録者も一定数いると考えられることなどから、十分な感染症対策のなかで、魅力ある図書館の整備・運営を図っていく。</p>		

### ■取組1 市民の立場に立った図書館サービスの充実



- (1) 乳幼児・児童向け資料の充実と子育て支援資料の提供 (G4)
  - ① 乳幼児・児童向け資料（絵本、物語等）の収集に努め、資料の充実に努める。
  - ② 子育てに役立つ絵本紹介パンフレット「絵本と遊ぼう」の作成・提供を行う。
- (2) 中高生向け資料の充実 (G4 G5)
 

中高生向けの資料の収集に努め、ヤングコーナーの充実を図る。

また、資格取得や企業を含めた中高生の進路選択に役立つ資料の収集を行う。
- (3) 高齢者・障がい者向け資料の収集と館内環境の整備 (G3 G4 G10)
  - ① 「読書バリアフリー法」(R1.6.28 施行)の目的に沿って、高齢者や障がい者が利用しやすい大活字資料や録音図書資料を収集し、手に取りやすい本の配置と環境の整備に努める。
  - ② 高齢者、障がい者、その家族の関心の高い趣味や医療・介護・福祉等の資料の収集に努める。
- (4) 来館困難者への資料提供 (G3 G4 G10)
 

団体貸出を通して、老人福祉施設や障がい者福祉施設に入所されている方への資料提供を行う。
- (5) 多言語資料の収集と案内掲示 (G4 G5)
  - ① 外国人とのコミュニケーション等に役立つ英語や、諸外国語の会話集等の資料の収集を行う。
  - ② 外国人が利用しやすいような多言語表記による館内の案内板や表示板などの充実を図る。
- (6) 清潔な館内環境の整備 (G3 G4 G11)
  - ① 返却本の消毒作業、館内換気、図書消毒器・予約本受取ボックスの周知を継続する。
  - ② 入館時のマスク着用・手指消毒・検温のお願いを継続する。

<成果指標>

目標名	実績		目標値		
	R2	R3	R4	R5	R6
貸出者数 (単位：人)	144,716	167,814	171,000	173,000	175,000
貸出冊数 (単位：冊)	710,323	809,770	836,000	845,000	854,000

■取組2 ICTを活用した情報提供の推進



(1) インターネット予約サービスの利便性向上 (G4)

インターネットによる図書館資料予約サービス等の普及を促進していくとともに、より利便性の高いシステムとなるよう運用の充実を図る。

(2) メール・レファレンスサービスの普及 (G4)

電子メールによるレファレンスサービスの利用拡大に努める。

(3) オンラインデータベースを活用した情報提供 (G4)

法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用した情報提供の周知に努め、利用拡大を図る。

(4) 時代に対応した新しい図書館情報システムの検討 (G4)

現行システムが更新予定のため、時代に対応したシステムを検討する。

その中の一つとして電子図書館の導入を検討する。

<成果指標>

(単位：%)

目標名	実績		目標値		
	R2	R3	R4	R5	R6
インターネット予約率	67.4	73.5	71.0	73.0	75.0

※目標値の設定について

毎年、前年比2%増を目標とし、5年以内に80%以上を目指す。

※電子図書館導入自治体 (令和3年10月1日現在)

近隣導入自治体 (導入順)

時点	電子図書館導入自治体数
R2年4月1日	94 (7.0%)
R2年10月1日	114 (8.5%)
R3年4月1日	205 (15.3%)
R3年10月1日	258 (19.2%)

- ①東根市 (H28.11) ②矢巾町 (H29.8)  
 ③郡山市 (R1.10) ④おいらせ町 (R2.7)  
 ⑤久慈市 (R2.9) ⑥一関市 (R2.12)  
 ⑦三沢市 (R3.5) ⑧白石市 (R3.10)  
 ⑨仙台市 (R3.11)

### ■取組3 資料の収集・整備・保存とその提供の充実



#### (1) 蔵書管理と収蔵スペースの有効活用 (G4)

- ① 提供できる資料について、市民ニーズや資料収集方針に基づき、適切な質・量の確保に努めるとともに、限られた収蔵スペースの有効活用を図る。
- ② 保育園、幼稚園などの施設や各種団体、一般利用者に除籍資料を提供し、リサイクルに努める。

#### (2) 郷土資料の充実 (G4 G11)

- ① 郷土に関する資料等の発行情報の把握に努め、図書、雑誌、パンフレット、チラシ、音声・映像資料等を幅広く収集し提供する。
- ② 前年中に出版された郷土関係の書籍について、「市民の出版物展」として2月下旬～3月中旬にかけて展示する。

#### (3) 地域課題解決の取組支援 (G4 G11)

- ① 山形市、山形県で発行している行政資料や地図等を収集し提供する。
- ② 起業、資格取得や就労等を支援していくための資料を収集し提供する。
- ③ 子育て、教育、医療、健康、福祉、まちづくり等の市民生活や地域を豊かにするための資料を収集し提供する。

#### (4) レファレンスサービスの向上と充実 (G4)

- ① レファレンスニーズに対応できる資料の整備や、研修等による専門能力の向上を図り、サービスの向上と充実を図る。
- ② 国立国会図書館レファレンス協同データベース、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービス並びに法令情報や官報情報などのオンラインデータベースを活用し、レファレンスサービスの充実に努める。
- ③ レフェラルサービス（利用者が求めている情報に関して、情報源となる人若しくは機関、組織を知らせるサービス）の蓄積した情報を整理し、将来のサービスに活用する。

#### (5) 視聴覚資料の提供 (G4 G11)

児童・青少年健全育成、地域福祉をはじめ、社会教育に役立つ視聴覚資料を、地域で活動する社会教育団体等へ提供する。

#### ■取組4 多様な学習の機会や活動・発表の場の提供



- (1) 講座・講演会の開催 (G4 G11)  
郷土の歴史や身近な市民のニーズに応える各種講座や、文字・活字文化の日、読書週間にあわせた講演会、郷土出身の作家等を招いた講演会を企画、開催する。
- (2) 「課題解決に役立つ」実践的なワークショップの開催 (G4 G11)  
「よのなか科 in 山形市立図書館」等、利用者や地域の課題解決に役立つ実践的ワークショップを開催する。
- (3) 幼児・児童向け事業の充実 (G4 G17)  
「絵本とあそぼう」、「おはなしの広場」などのおはなし会のほか、紙芝居、人形劇、などの多様なイベントにより、幼児・児童が物語等に親しむ機会を提供し、読書活動の推進を図る。  
事業実施においては、図書館ボランティアの協力を得ながら、参加しやすい雰囲気づくりに努める。
- (4) 展示会のタイムリーな開催 (G4 G11)
  - ① 読書への関心を高めるため、読書週間、教育・文化週間にあわせて資料を展示する。
  - ② 山形市平和都市宣言事業として戦争と平和に関する資料を展示する。
  - ③ 開催する講座・講演会のテーマに沿った資料を展示する。
- (5) 事業実施における図書館ボランティアとの協働 (G4 G17)  
上記の各種講座・講演会や事業、展示会等の企画・運営は、図書館ボランティアと協働で行う。

#### ■取組5 学校図書館等との連携と教育活動への支援



- (1) 学校図書館の運営支援 (G4 G17)
  - ① 学校図書館の運営を支援するため、図書整理員研修会を開催する。
  - ② 学校を訪問し、学校図書館の運営の工夫や課題について、学校からの相談に基づき情報交換や助言等の支援をする。
- (2) 探究型学習の支援の充実等 (G4 G17)
  - ① 児童生徒の探究型学習支援のため、学校からの依頼に基づき教科等のテーマに応じた資料を選定し、団体貸出により提供する。
  - ② 夏休み自由研究相談会、読書感想文書き方講座を開催するほか、自由研究のテーマ選定や研究の

進め方などに役立つ図書を展示するなど、児童生徒の探究型学習を支援する。

③ 学校との共催による学校訪問おはなし会を、図書館ボランティアの協力を得て実施する。

(3) 職場体験学習等の受け入れ (G4 G17)

① 中学校2年生の職場体験学習をはじめ、児童生徒の職場体験や就業体験を受け入れる。

② 小学校のまち探検や社会科見学、中学校の社会科学習等の図書館見学受け入れをとおり、図書館の理解と児童生徒の利用促進を図る。

(4) 「としょかんK i d s」の発行と学校との協力 (G4 G17)

本の新聞「としょかんK i d s」の発行に際しては、学校の協力のもと児童・保護者らのお気に入りの本を紹介する記事の掲載や、季節毎のテーマで児童書を紹介し内容の充実を図り、学校に校内掲示を依頼し、児童の図書館利用促進に努める。

(5) 幼稚園・保育所等への資料提供と読み聞かせの実施 (G4 G17)

① 幼稚園・保育所等へ団体貸出により資料を提供する。(学童クラブを含む)

② 園児に図書館利用の楽しさを感じてもらえるよう、図書館見学などを受け入れる。

③ 読み聞かせの依頼を受け、図書館ボランティアの協力を得ながら、訪問し開催する。

## ■取組6 広報・広聴及び情報発信の充実



(1) 図書館だよりの発行 (G4 G17)

① 「図書館だより ベにばな」を発行し、利用案内、催し物の開催、図書館ボランティアの活動状況等の情報提供を行う。

② 本の新聞「としょかんK i d s」を発行し、紹介本を通して児童生徒の図書館利用を促進する。

(2) 広報やまがた・市公式ホームページを通じた情報提供 (G4 G11)

① 「広報やまがた」を活用し、催し物の開催や図書館利用に関する情報提供を行う。

② 市公式ホームページ「なんたっすやまがた」やフェイスブックを活用し、利用案内や催し物開催等の情報提供を行う。

③ 図書館ホームページで、蔵書案内、新着資料案内、催し物開催等の情報提供を行う。

(3) 利用者アンケートの実施 (G4 G11 G17)

利用者アンケートを実施し、利用者の属性や図書館利用に関する意向・要望等の把握に努め、その結果を図書館運営に活かす。

## ■取組 7 市民参加による図書館運営



### (1) 図書館ボランティアとの協働 (G4 G17)

図書の整理・修理、読み聞かせ、独自事業の企画などを行う図書館ボランティアと協働し、図書館運営の充実を図るとともに、展示会や講座等開催など活動の場を提供する。また、若手を含むメンバー補充、育成についても支援する。

### (2) 職場体験の受入 (G4 G10 G17)

インターンシップや若者支援NPO、青少年及び一般成人の保護組織が実施する、職業体験、就労研修等を受け入れる。

### (3) 図書館協議会での意見や要望等の図書館運営への反映 (G4 G16 G17)

図書館協議会における図書館に対する意見や要望等を、図書館運営へ反映させる。

## ■取組 8 質の高いサービスを支える体制の整備



### (1) 専門性の向上 (G4)

司書職として会計年度任用職員を2名採用する。また、館内研修の実施や、他団体等が開催する研修等への参加により、職員の資質向上を図る。

### (2) 分館の充実 (G4)

- ① 資料の貸出・返却、予約資料の受け取りなど、本館と分館間のネットワークの充実を図る。
- ② 各分館のニーズ、利用者層、利用資料の傾向、規模等に応じた蔵書構成を図る。

### (3) 図書館情報システムの利便性向上 (G4)

利用者にとってより利便性の高い図書館情報システムとなるよう運用の充実を努める。

### (4) 長寿命化に向けた安全・安心で魅力ある施設の整備 (G4 G11)

施設の老朽化に伴う計画的な改修を実施し、安全・安心に利用でき、かつ魅力ある施設整備を推進する。今年度は、空調設備改修工事を実施する。これにより、二酸化炭素の排出量は現在より削減が見込まれる。換気量は厚生労働省推奨基準の1.2倍を確保する予定である。

### (5) 危機管理体制の整備 (G4 G11)

危機管理研修の開催や災害発生を想定した訓練を実施する。